

中泊町大型カルバート個別施設計画



令和4年12月
中泊町

目 次

<u>1. 道路施設（大型カルバート）の現状と課題</u>	1
1.1 道路施設の現状	
1.2 道路施設の課題	
<u>2. 道路施設の維持管理の基本的な考え方</u>	2
<u>3. 計画期間</u>	3
<u>4. 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用</u>	4
4.1 点検結果と修繕時期	
<u>5. 費用の縮減に関する今後の取組</u>	4
5.1 新技術の活用	
5.2 集約・撤去の検討	
<u>6. 記 録</u>	4

1. 道路施設（大型カルバート）の現状と課題

1.1 道路施設の現状

中泊町が管理する道路施設（大型カルバート）は令和4年12月1日現在1箇所である。

路線名	建設年次 (西暦)	延長 (m)	幅員 (m)	所在地
町道 404 号線 (紅葉坂地下道)	1997	16	9.25	中泊町大字中里字 紅葉坂

1.2 道路施設の課題

中泊町が管理する道路施設（大型カルバート）は建設後25年経過しており、平成26年度（2014年）の定期点検では、カルバートの中間壁にひび割れやコンクリート剥離などが見つかったことから、平成30年に測量調査設計業務を実施し令和元年度より補修工事に着手し、令和2年度に完了した。

令和元年度の定期点検の評価は補修工事の内容から「健全度 I」と判定し、補修の必要性がない状態であるが、日常点検、定期点検等により、新たに発見された変状や健全度の進行が著しいものについては、随時見直し対応して行くこととする。

位置情報	構造物の判定結果		
路線名	判定区分	主な所見	調査実施年月
町道 404 号線	I	なし（健全）	2020年2月

2. 道路施設のメンテナンスサイクルの基本的な考え方

今後、道路構造物が急速に老朽化していくことを踏まえ、道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを確立するために具体的な点検頻度や方法等が法令で定められ、また、「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」（平成26年4月）より、メンテナンスサイクルを持続的に回すよう取組むべきと提言された。

これらを踏まえて、今後さらに、老朽化する道路構造物の増加が見込まれることから、下記の定期点検要領等に基づき、5年に1回の頻度で、近況を把握していく。

その後、点検・診断結果に基づき必要な措置を適切な時期に着実かつ効率的・効果的に講じ、点検結果と共に記録してメンテナンスサイクルを回すことで老朽化対策を推進していく。

(1) 定期点検要領等

- ・シェッド、大型カルバート定期点検要領（国土交通省 道路局 H26.6）

(2) トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示

（平成26年国土交通省告示第426号）

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態



3. 計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とする。なお点検結果を踏まえ適時、計画を更新する。

名称	計画期間									
	H26	H27	H28	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	R5
大型カルバート	点検	5年に1回の頻度				点検	5年に1回の頻度			
					補修					

4. 施設の状態・対策内容・実施時期・対策費用

4.1 点検結果と修繕計画

判定 区分	修繕計画						備考
	H29	H30	H31・R1	R2	R3	R4	
I		○	○	○			H30は測量・設計 R1・R2は補修工事

※事業費38,600千円（主な補修内容はひび割れ補修・断面修復・表面処理・警報装置取替）

5. 費用の縮減に関する今後の取組

5.1 新技術の活用

維持管理・修繕に係る新技術について、新技術情報提供システム（NET I S）などを参考に、新技術等の活用を検討し、費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術を活用することで、トータルコストの削減や省力化を促進します。

5.2 集約・撤去の検討

今後、より効率的でコストを抑えた維持管理を行っていくには、人口減少や土地利用の変化など、社会情勢や施設の利用状況等の変化に応じた柔軟な対応が必要になってきます。

そこで代替路の有無を確認のうえ、集約化・撤去、機能縮小などによる費用の縮減を地元の意見を踏まえながら検討し、必要性のなくなった施設の集約・撤去、利用者のニーズに沿った施設の再編を推進します。

6. 記録

令和元年度に実施した点検記録表は別紙のとおりである。

位置図



施設名・所在地・管理者名等

				施設ID	40.96306,140.44194
				緯度	40° 57' 47"
				経度	140° 26' 31"
施設名	路線名	所在地	起点側		
紅葉坂地下道 モミジザカチカドウ	町道404号線	青森県北津軽郡中泊町			
管理者名	定期点検実施年月日	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
青森県 中泊町	2020.2.28	有	一般道		無

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)定期点検者 中泊町役場 定期点検責任者 大西 司

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号, 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び判定 実施年月日
カルバート本体	I					
継手						
ウイング	I					
その他	I					

施設毎の健全性の診断(対策区分I~IV)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
I	

全景写真(起点側, 終点側を記載すること)

建設年次	延長	総幅員
1997年	16m	9.25m
構造形式		
RC構造		



※建設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(変状状況)

○判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

カルバート本体()【判定区分: 】	継手()【判定区分: 】
ウイング()【判定区分: 】	その他【判定区分: 】